

2023年度 機械安全実務講習会[応用コース] について

プログラム内容一部変更のご案内とお詫び

各位

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度 機械安全実務講習会[応用コース] につきましてご案内いたします。

当コースですが、セーフティニアアセッサ資格の設立に伴い、機械安全実務講習会[発展コース]を開設し、その際内容を見直しました。講習 1～4 のコース全体を通してみると大きな変更はありませんが、各コースの講義内容の組み換え等を行いました。特に、選択して受講される場合は、改めて必要な科目をご確認いただきますようお願い申し上げます。

弊社ホームページに記載しています講義プログラム内容の表が修正されていませんでしたので、以下のように訂正しましたご報告と同時に、ご案内ができておりませんでしたことを深くお詫び申し上げます。

主な変更点

プログラム内容(旧)	→	プログラム内容(新)	備考
なし	→	応用 1(ISO12100)	新設
応用 1(インタロック)	→	応用 2(安全防護及び付加保護方策)	変更
応用 2(電気安全)	→	応用 3(電気安全、機能安全)	集約
応用 3(機能安全)	→		
応用 4(リスクアセスメント低減演習)	→	応用 4(リスクアセスメント低減演習)	変更なし

以上

本件についてのお問合せは下記までお願いいたします。

日本認証株式会社 セーフティアセッサ担当

〒 532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-7-53 Maruta ビル 8F

TEL : 06-4807-3337

E-mail: safety12100@j-cert.com

URL : <http://www.japan-certification.com/>

弊社ホームページ 該当箇所：

<https://www.japan-certification.com/workshop/follow-up-apply/>

HOME > 講習会 > 機械安全実務講習会[応用コース][発展コース]

プログラム

- ・セーフティアセッサ資格にレベルアップするために必要な知識を、4回の講習で習得できるプログラムになっています。
- ・セーフティサブアセッサ資格者ではない（もしくは同等の知識を保有していない）場合は、事前に機械安全実務講習会〔基本コース〕を受講ください。
- ・応用講習4は、応用講習1～3を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方が受講して下さい。
- ・単体受講も可能です。例）応用講習1のみ、応用講習4のみ
- ・講習時間 9：00～18：00

講習	講習項目	関連規格他	講習内容
応用講習1	機械安全の安全原則	ISO 12100, 14118	ガードと共用するインターロック装置設計技術
	ガードとインターロック・安全距離	ISO 14119, 14120, 13854, 13855, 13857	
応用講習2	機械の電気装置	IEC 60204-1	機械の電気装置設計技術
応用講習3	制御システムの安全関連部 第1部	ISO 13849-1	制御回路の安全関連部の設計と妥当性確認技術
	制御システムの安全関連部 第2部	ISO 13849-2	
	E/E/PES制御システムの機能安全	IEC 62061	
応用講習4	基本安全規格	ISO/IEC Guide51	リスクアセスメント/リスク低減実務実習
	リスクアセスメント及びリスク低減	ISO 12100	
	機械安全対策事例	リスクアセスメント実務実習	
	残留リスクの通知		

変更前

講習	講習項目	関連規格他	講習内容
応用講習1	機械安全概要の復習	-	基本コースの内容の復習
	国際規格と国内法令の詳細	ISO/IEC規格	国際規格の見方と労働災害に関する法令
	ISO12100の詳細	ISO12100	各項目の詳述
応用講習2	安全防護の要求事項	ISO 14120,13854,13855,13857	ガード、保護装置、付加保護方策の詳細
	制御による安全	ISO 12100,IEC 60204-1	
	各種保護方策への要求事項	ISO 14119,13850	
応用講習3	機能安全の概要	ISO 13849-1,2	制御回路の安全関連部の設計と妥当性確認
	電気装置の保護方策	IEC 60204-1	感電保護、保護ボンディング等
応用講習4	リスクアセスメント、リスク低減演習	ISO/IEC規格	動画を基にした演習

変更後